

2026年6月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
学会発表・セミナー発表		
1	発表者名（ポスター）	福原潔 ^{1,2} , 中西郁夫 ² , 荘司好美 ² , 伊藤紘 ² , 大野彰子
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 昭和医科大学 大学院薬学研究科 医薬化学分野 ² 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所
	演題名	Fe ³⁺ 応答型抗酸化分子PCat-DTPAの設計とレドックス活性制御
	学会名, 発表年月及び場所	第79回日本酸化ストレス学会学術集会 (2026.6.18, 名古屋)
2	発表者名（ポスター）	森 有利絵 ^{1,2} , 水谷秀樹 ¹ , 福原潔 ³ , 大野彰子, 関島秀久 ⁴ , 小谷泰一 ⁴ , 堀美香 ² , 村田真理子 ⁵ , 川西正祐 ⁶ , 及川伸二 ²
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 金城学院大学 薬学部 薬学科 ² 三重大学大学院 医学系研究科 環境分子医学分野 ³ 昭和医科大学 薬学部 ⁴ 三重大学大学院 医学系研究科 法医法科学分野 ⁵ 鈴鹿医療科学大学大学院 医療科学研究科 ⁶ 鈴鹿医療科学大学 薬学部
	演題名	スクラロースによる過酸化水素生成を介した毒性機構の解明
	学会名, 発表年月及び場所	第79回日本酸化ストレス学会学術集会 (2026.6.18, 名古屋)
3	発表者名（口頭）	足利太可雄, 波多野浩太 ¹ , 岩佐帆乃夏 ¹ , 木下啓 ² , 中村伸昭 ¹ , 安部賀央里 ² , 頭金正博 ²
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ ホーユー株式会社 ² 名古屋市立大学大学院薬学研究科 医薬品安全性評価学分野
	演題名	Next Generation Risk Assessment Case Study: A Skin Sensitization Quantitative Risk Assessment for Bandrowski's Base Existing in Hair Color Formulations
	学会名, 発表年月及び場所	第51回日本化粧品学会学術大会 (2026.6.26, 東京)
4	発表者名（口頭）	飯島一智 ¹ , 山城真輝 ² , 坂本玲奈 ² , 大野 彰子, 足利 太可雄
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 横浜国立大学大学院 工学研究院 ² 横浜国立大学大学院 理工学府
	演題名	化粧品原料に用いられる種々のナノ粒子によるTHP-1細胞活性化の評価と比較
	学会名, 発表年月及び場所	第51回日本化粧品学会学術大会 (2026.6.26, 東京)